

2012年度上半期は、放送収入が堅調に推移したことにより増収を達成。
 下半期の広告市況は世界経済の停滞の影響が懸念される。

2012年度第2四半期連結累計期間（2012年4月～9月）の日本経済は、復興需要等により引き続き底堅さが見られるものの、世界景気、特に欧州や中国等の不確実性の高まりから景気が下押しされるリスクが強まっており、さらなる注視が必要な状況のまま推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、(株)テレビ東京及び(株)BSジャパンの放送収入が堅調に推移したことなどによって売上高は557億4千1百万円と前年同期比5.0%の増収となりました。一部のグループ会社が減益となったことから営業利益は11億5千1百万円、前年同期比15.1%の減益にとどまりましたが、四半期純利益については子会社株式の売却益があったことなどによって11億1千8百万円と前年同期比57.4%の増益となりました。

売上高

557億4千1百万円
 (前年同期比5.0%増)

営業利益

11億5千1百万円
 (前年同期比15.1%減)

四半期純利益

11億1千8百万円
 (前年同期比57.4%増)

1株当たり中間配当金

12.5円

▶ 2013年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,140億5千9百万円
 (前年同期比2.3%増)
 営業利益 …………… 20億1百万円
 (前年同期比8.5%減)

●下半期は世界経済の停滞が広告市況にも影響する見込み。

▶ 1株当たり配当金

〈配当方針、目標〉

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実にに向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。

1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしております。

〈2013年3月期 期末配当予想〉

1株当たり12.5円
 (年間配当は1株当たり25円)

Check! /

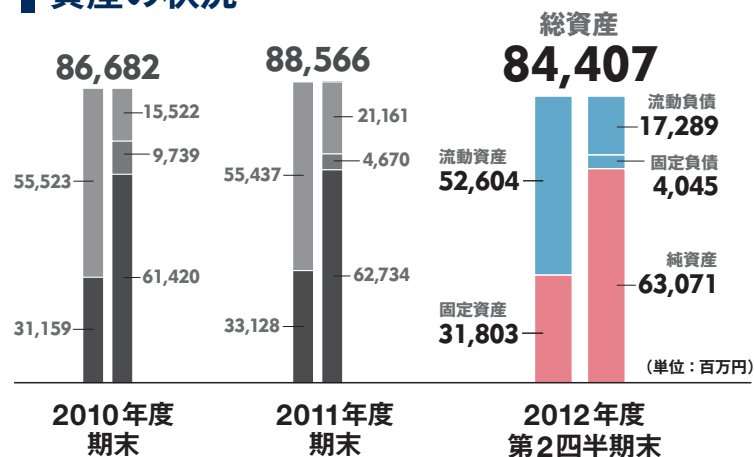
連結財務諸表（連結貸借対照表、連結損益計算書ほか）、財務ハイライトは当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 財務・業績情報

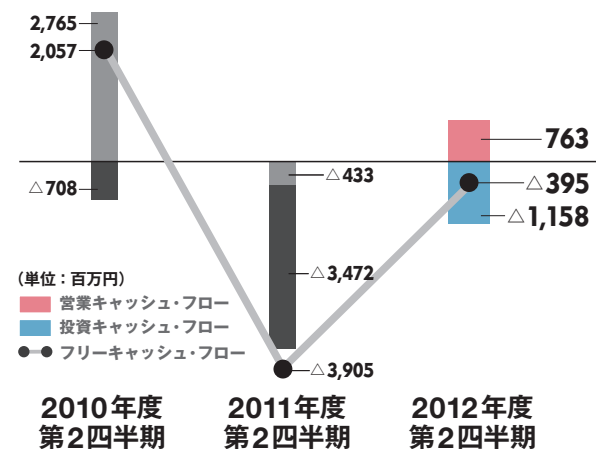
検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/finance/>

資産の状況



フリーキャッシュ・フロー

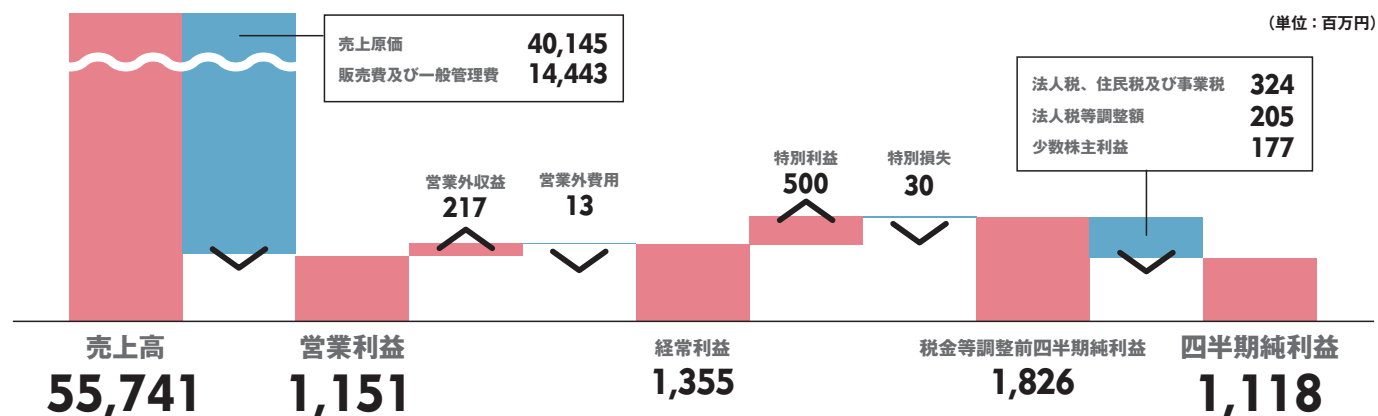


※2010年度第2四半期は旧(株)テレビ東京の連結数値です。

▶ 資産の状況

- 〈流動資産52,604百万円の主な内訳〉
- ・受取手形及び売掛金 …… 20,686百万円
 - ・現金及び預金 …… 17,866百万円
- 〈固定資産31,803百万円の主な内訳〉
- ・有形固定資産 …… 17,373百万円
 - ・投資有価証券 …… 8,117百万円
- 〈流動負債17,289百万円の主な内訳〉
- ・未払費用 …… 8,071百万円
 - ・支払手形及び買掛金 …… 2,698百万円
- 〈固定負債4,045百万円の主な内訳〉
- ・退職給付引当金 …… 3,300百万円
- 〈純資産63,071百万円の主な内訳〉
- ・株主資本 …… 61,665百万円

損益の状況 2012年度 第2四半期



▶ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は58億5千6百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローが7億6千3百万円の資金取得となったほか、投資活動によるキャッシュ・フローが11億5千8百万円の資金支出、財務活動によるキャッシュ・フローが19億3千5百万円の資金支出となったことによります。